

製品名: PSMD2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16619**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMD2
別名	PSMD2; TRAP2; 26S proteasome non-ATPase regulatory subunit 2; 26S proteasome regulatory subunit RPN1; 26S proteasome regulatory subunit S2; 26S proteasome subunit p97; Protein 55.11; Tumor necrosis factor type 1 receptor-associated protein
遺伝子 ID	5708.0
SwissProt ID	Q13200
免疫原	抗血清はヒト PSMD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

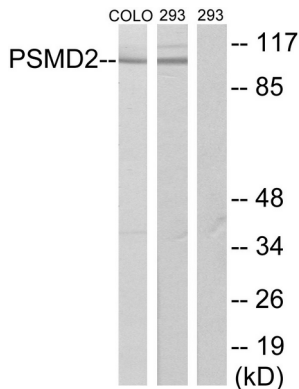
背景

26S プロテアソームは、2つの複合体（20S コアと 19S 調節因子）から構成される、高度に秩序立った構造を持つ多触媒性プロテアーゼ複合体です。20S コアは、28 個の異なるサブユニットからなる 4つのリングで構成されています。2つのリングは 7 個のアルファサブユニットから構成され、残りの 2つのリングは 7 個のベータサブユニットから構成されています。19S 調節因子は、6 個の ATPase サブユニットと 2 個の非 ATPase サブユニットを含むベースと、最大 10 個の非 ATPase サブユニットを含むリッドで構成されています。プロテアソームは真核細胞全体に高濃度で分布しており、リソソームを介さない ATP/ユビキチン依存的な経路でペプチドを切断します。改変型プロテアソームである免疫プロテアソームの重要な機能は、クラス I MHC ペプチドの処理です。この遺伝子は、19S 調節因子リッドの非 ATPase サブユニットの 1つをコードします。プロテアソーム機能への関与に加えて、このサブユニットは、ユビキチン化されたタンパク質の ATP 依存性分解に関与する 26 プロテアソームの調節サブユニットとして機能します。機能：腫瘍壊死因子 1 型受容体の細胞内ドメインに結合します。TRAP1 と TRAP2 の結合ドメインは、TNFR1 のデスドメインの外側にあります。類似性：プロテアソームサブユニット S2 ファミリーに属します。類似性：7つの PC リピートを含みます。組織特異性：骨格筋、肝臓、心臓、脳、腎臓、膵臓、肺、胎盤に存在します。、

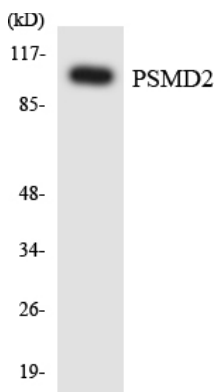
研究分野

プロテアソーム;

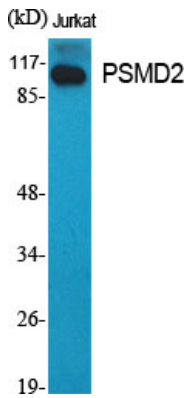
画像データ



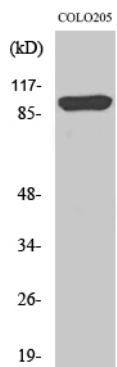
COLO205 細胞および 293 細胞のライセートを PSMD2 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



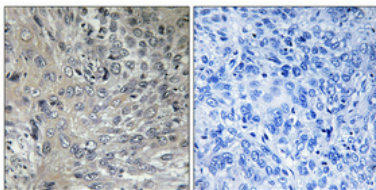
PSMD2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PSMD2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PSMD2 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。